

第22回総会



R6.8.26 National Geographic Resolution「クルーズ客船×夏まつり」(釧路港)

【日時】 : 5月22日(木) 14:00~16:00
【場所】 : 札幌第2合同庁舎 9階講堂

北海道クルーズ振興協議会

次 第

1. 開会

2. 挨拶

北海道クルーズ振興協議会
会長 鷗山 久

3. 議事

(1) 令和6年度事業報告……………P.1～4

(2) 令和7年度事業計画(案)……………P.5～7

(3) その他

・特別報告

会員・大阪府立大学名誉教授 池田 良穂 氏
「世界のクルーズ客船の最新動向」

4. 特別講演

「二隻体制を迎えるにあたり」

郵船クルーズ株式会社 運航部長 吉田 悟 様

5. 閉会

(1) 令和6年度 事業報告

1. クルーズ船社等へのプロモーション活動

北海道クルーズ船寄港地観光造成事業

観光庁の地域観光新発見事業（新創出型）を活用し、北海道、室蘭市、釧路市及び網走市と連携し、欧米の富裕層が多く乗船するプレミアムクラスのクルーズを展開する「オーシャニアクルーズ社」（米・マイアミ）の寄港地ツアーの造成を担当者をキーパーソンとして招請し、後背地の観光造成についてアドバイスをいただきました。

【招請事業】

日程：令和6年10月29日～11月2日

被招請者：オーシャニアクルーズ社 寄港地ツアー造成担当者 1名

10/29 (網走)

・北方民族博物館 → 網走港視察 → 濤沸湖水鳥湿地センター
→ ウトロ泊

10/30 (ウトロ・釧路)

・知床五湖 → 阿寒湖・ポツケ遊歩道 → 釧路泊

10/31(釧路・札幌)

・釧路港視察 → 釧路湿原野生生物保護センター視察 → 札幌移動
(関係社意見交換会) → 札幌泊

11/1 (室蘭)

・室蘭港視察 → 白鳥大橋主塔登頂クルーズ・鉄打ち体験 → 室蘭泊

11/2 (白老・小樽)

・ウポポイ視察 → 小樽港クルーズターミナル見学



北方民族博物館
(網走市)



KAMUY LUMINA
(釧路市阿寒町)



鉄のキーホルダー作り体験
(室蘭市)

2. 広報活動の展開

ホームページによる情報発信

平成19年6月から北海道運輸局ホームページにおいて、北海道クルーズ振興協議会独自のサイトを開設し、クルーズ客船寄港情報、協議会ニュース、クルーズ客船の紹介などの情報を提供しています。

今年度においては、順次古い情報を刷新し、内容の充実を図っていきます。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

北海道クルーズ・旅客船メールマガジンの配信

平成17年4月から毎月1回、クルーズ振興に関する広報情報として「北海道クルーズ・旅客船メールマガジン」を発行、令和6年度は12回配信しました。

クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報に地域観光情報等も含め、北海道クルーズ振興協議会会員をはじめメルマガ会員の皆様に広く情報を提供しています。

※令和7年3月末現在-メルマガ会員数は804名

令和6年度のメールマガジン配信状況

| | | | |
|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| Vol.233 : R6.5.1 | Vol.234 : R6.6.3 | Vol.235 : R6.7.1 | Vol.236 : R6.7.31 |
| Vol.237 : R6.8.30 | Vol.238 : R6.10.1 | Vol.239 : R6.11.1 | Vol.240 : R6.12.2 |
| Vol.241 : R6.12.27 | Vol.242 : R7.1.31 | Vol.243 : R7.2.28 | Vol.244 : R7.3.28 |

3. クルーズ客船の受入れ体制の充実に向けての取組

全道各港で地域のクルーズ振興協議会や港湾振興会、観光協会などの協力により、歓迎式典や日本文化に触れるおもてなし、見送りイベントなど、地域色などを活かしたセレモニーやイベントが実施されました。

各港湾の実施概要については、別添にてご紹介します。

4. クルーズ人口の拡大に向けての取組

船内見学会の実施

クルーズ船寄港時には、クルーズ客船の魅力を深く知っていただくため、クルーズ客船の船内見学会を各港湾で実施しております。

令和6年度は小樽港及び苫小牧港で開催され多くの応募をいただきました。今後も一般市民の方にクルーズを身近に感じていただき、クルーズ人口の増加を目指します。



R6.8.31小樽港船内見学会（にっぽん丸）



R6.9.7苫小牧港船内見学会（飛鳥Ⅱ）

クルーズモニターの実施

北海道クルーズ振興協議会では、クルーズ旅行の「魅力・楽しさ・素晴らしさ」をより多くの方々に体験していただくため、運航船社のご協力をいただき次のとおり実施しました。

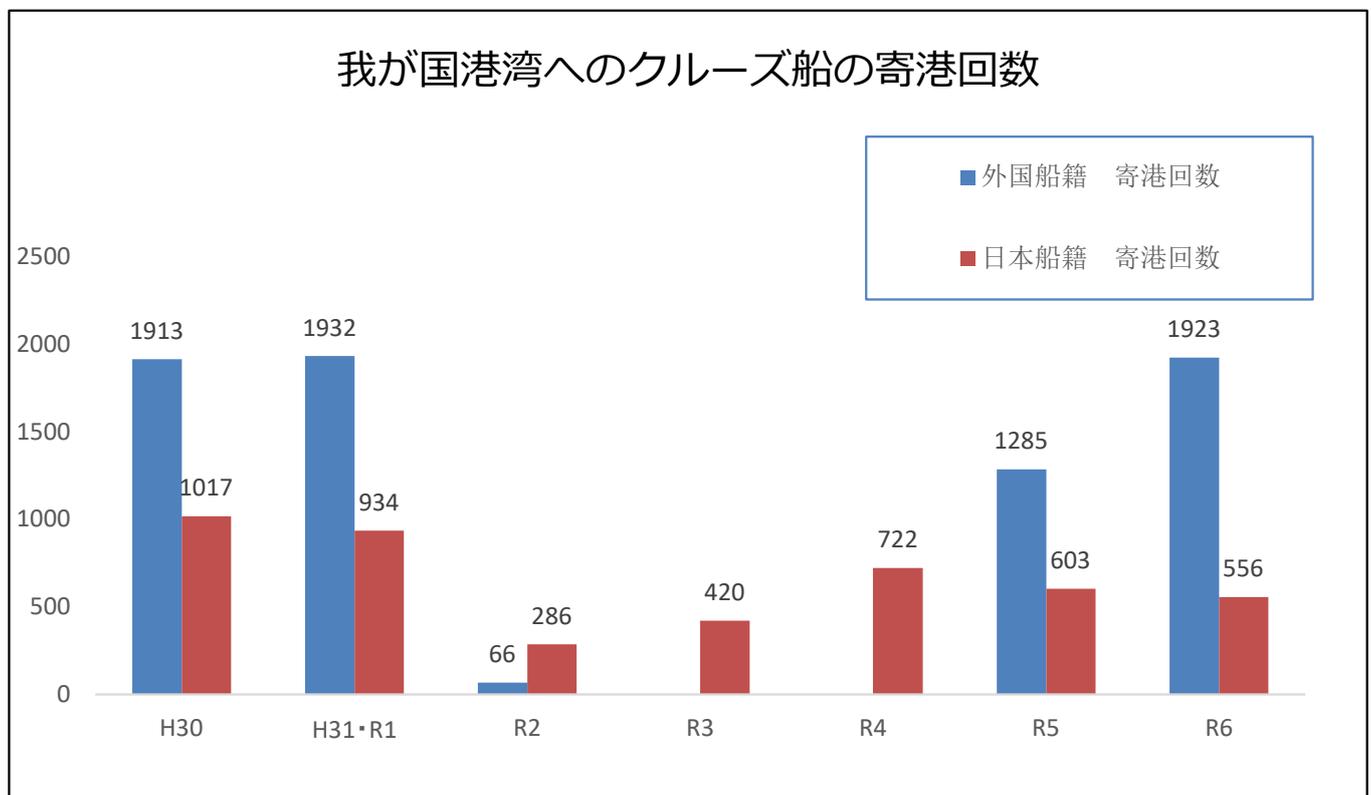
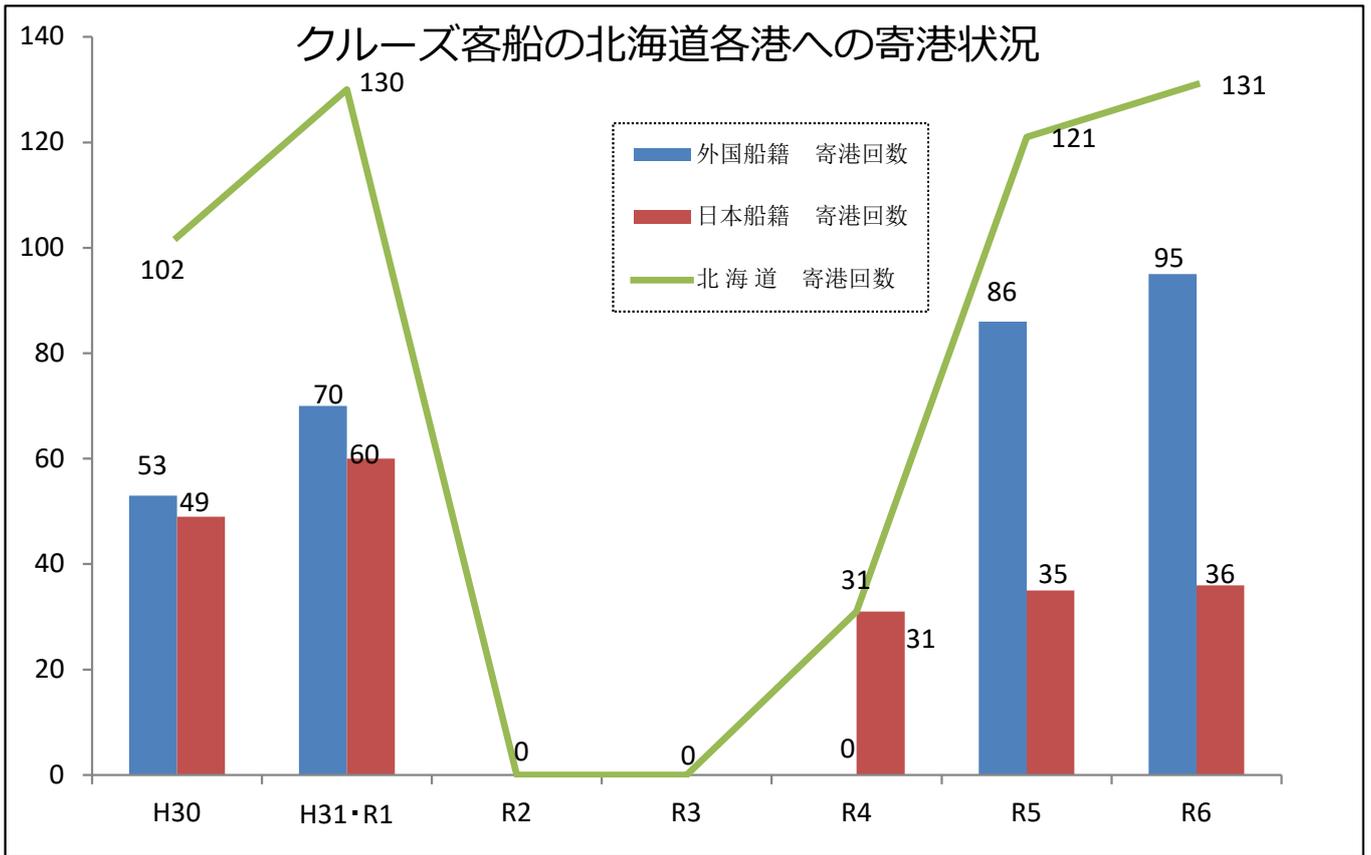
モニターとして乗船された方々には、アンケートへの回答やモニター体験の感想文と写真について協力をお願いし、北海道クルーズ振興協議会のホームページにてご紹介しています。

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise21/news/2024.9.30cruisenews.pdf>

- 「にっぽん丸」：ペア1組（2名）
令和6年9月3日（火）～9月6（金）
飛んでクルーズ北海道 小樽港発着
Cコース（小樽～稚内～羅臼～小樽）



モニターからの提供写真
（船上から撮影した利尻富士）



出所：国土交通省港湾局発表資料

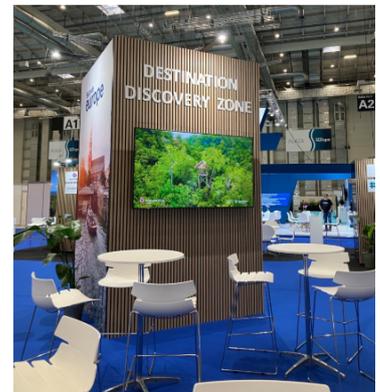
(2) 令和7年度 事業計画 (案)

1. 北海道クルーズ振興協議会の主な事業

クルーズ客船の新規寄港誘致と定点クルーズ定着を目指して

(1) クルーズ船社等へのプロモーション活動

- ①海外船社を招請し、道内の港湾施設、観光スポット等の視察、港湾関係者との面談、意見交換会等を行うことや、地域が取り組む海外プロモーションなどの事業に協力することにより、海外クルーズ船の寄港拡大を図ります。
- ②Sea Trade等のクルーズコンベンション出展参加事業が行えるよう準備を行っていきます。今年度においては、令和7年9月10～12日にドイツ・ハンブルクで開催される「Seatrade Europe 2025」に北海道、函館市そして苫小牧港管理組合が参加し、出展することとしております。



- ③海外クルーズ船社へ、寄港地として求められている港湾情報や周辺観光地などの北海道の情報を「HOKKAIDO CRUISES」（各港の視察などを経て、令和6年度改訂版を北海道開発局作成）などを活用しながら発信していきます。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kk/kou_kei/ud49g7000000uool.html

- ④「北海道交通政策総合指針」及び「北海道におけるクルーズ船誘致方針」に基づいて行われるクルーズ船誘致に関する取り組みに協力していきます。
- ⑤大きな経済効果が期待できる定点クルーズを北海道に誘致するため、北海道クルーズ振興協議会が主体となって会員とともに「オール北海道」による効果的な寄港誘致に向け、方策を検討していきます。

(2) 広報活動の展開

- ①北海道クルーズ振興協議会ホームページの充実
一般市民の方にクルーズに関心をもってもらえるようなホームページとなるよう、内容の充実を図ります。
- ②北海道クルーズ・旅客船メールマガジンの配信
クルーズ客船、フェリー、旅客船等に関する情報、地域の観光情報、一般海事情報など幅広い情報を配信していきます。メールマガジンをツールとし、多方面からの情報収集に努めます。
- ③クルーズ船社等の各種パンフの配付
講演会（船内セミナー）や船内見学会などの機会を捉え、一般市民を中心に配付します。

(3) クルーズ振興の地域組織の設立及び組織強化

- ①各港湾、地域・エリアでの連携の拡大を、積極的に支援していきます。
- ②北海道クルーズ振興協議会を発展・充実させるため、誘致活動等を実施している港湾以外の自治体や観光関係者等に対しても、協議会への参画を要請します。
- ③各港湾における地域組織の設立を支援していきます。

(4) クルーズ客船の受入れ体制の充実

- ①地域で連携し、「入港歓迎セレモニー」「出港時の見送り」「観光案内情報の提供」などを積極的に実施します。
- ②定点クルーズの受入環境整備、周辺観光のあり方などについて関係機関と連携し、問題や課題等の整理を行い、今後の受入体制の充実に活用していくこととします。
- ③「北海道アドベンチャートラベル協議会（HATA）」のメンバーとして、HATAの構成員と協働して、欧米の乗船客からニーズがある「北海道の大自然」や「アウトドア」を海外クルーズ客船寄港時のエクスカージョンとして、提供できるような体制作りを行います。

(5) クルーズ人口の拡大

- ①(一社)日本外航客船協会等と連携して、一般市民を対象としたクルーズ客船の船内見学会及びクルーズセミナーを開催します。
- ②運航船社と連携しクルーズ・モニターを企画実施しクルーズの魅力発信に努めます。
- ③船内見学会やクルーズ・モニター等において行ったアンケート調査の結果を、クルーズ人口拡大に活用します。

2. 会議の開催（総会及び幹事会）

- ①本協議会の規約に基づき、運営に必要な事項について審議します。
- ②北海道クルーズ振興協議会事業への参加等に伴う旅費等は、会員負担とします。
- ③総会及び幹事会のほか、必要があると認める場合は関係機関による会議を開催します。

